

こむぎこねんど さわ 小麦粉粘土を触ってみよう！

みてみて！



保育者が小麦粉と水を混ぜていると、「なにになにー？」「もうできた？」と興味津々な子ども達。ワクワクとした表情で、容器を覗き込んでいました。出来上がった小麦粉粘土を早速触ってみると、パタパタ、モチモチ、不思議な感触…指で押したり手で握ったりして、手に付いた粘土を保育者に「みてみて！」と見せていました。子ども達が表情や仕草、簡単な言葉などで気持ちを表現する姿を受け止め、共感したり思いを代弁したりして関わっています。

どんな形にしようかな



小さくなった

同じようにしてみたい！

丸めたり、握ったりするだけではなく、細く伸ばしてみたり、細かくちぎったりして、子ども達自身で試したり工夫したりして遊びを広げています。すると、手のひらや手の甲、腕などを使って粘土を伸ばし始める子どもがおり、その様子を見た周りの子ども達も真似して、同じように粘土を伸ばしていく姿がありました。「こうするの」と教えていました。

パタパタ…



こうするの

